

2022 年度（令和 4 年度）事業報告書 （令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した

II-1. 特別企画展（入館者数 63,933 人：有料+無料）

入館者		本年度	前年度	増減	備考
一般	個人	60,015	30,312	29,703	友の会員等含む
	団体	498	42	456	
学生 (大高中小)	個人	2,930	1,635	1,295	
	団体	490	130	360	
計		63,933	32,119	31,814	

2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

	特別展示名	会期	会期日数	入館者（人）	
				入館数	日当たり
1	仏教絵画 浄土信仰の絵画と柳宗悦	（‘22年3月31日） ‘22年4月1日～6月12日	63日	6,875	109
2	沖縄の美	‘22年6月23日～8月21日	52日	10,266	197
3	柳宗悦と朝鮮の工芸 陶磁器の美に導かれて	‘22年9月1日～11月23日	72日	10,762	149
4	2022 年度日本民藝館展	‘22年12月10日～12月25日	14日	3,414	244
5	生誕 100 年柚木沙弥郎展	‘23年1月13日～3月31日 （‘23年4月2日）	67日	32,616	487
開催日数・総入館者数（年度過ぎ日は省く）			268日	63,933	239

III. 民藝の普及・振興に関する事業

1. 特別展にあわせて下記のオンライン講座を開催。

	記念講演会名等	講師	実施期日	参加人数	運営
1	沖縄の美 展 柳宗悦に魅せられて	澤地久枝（ノンフェクション作家）	‘22年7月29日	240	Live オンライン有料
2	生誕 100 年柚木沙弥郎展「自作と民藝館」	柚木沙弥郎 染織家 （2018.5.19 記念講演録画を放映）	‘23年1月13日～ 4月16日	839（4月16日現在）	オンライン有料

2. 小・中・高等学校との連携事業

学校教育との連携活動として、小学校（2校：桐朋学園小学校 71名、駒場小学校 68名）と高等学校（1校：橘学苑高等学校 36名）の学生を受け入れ、美術館教育を館内にて実施

3. 博物館実習教育プログラム（博物館実習の受入れ）

学芸員資格の取得を希望する学生に対して、現場での教育実習プログラムを設け、各大学より応募があった学生を対象に講義と実習を行った。

事業名	実習日数	学校数	人数	教育カリキュラム
博物館実習生の受入	10日間（2022年6月9日～2023年1月12日） 講義3日間、実習7日間	大学 15校	16名	1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業）

4. 国際文化交流事業（国内含む）

- ・国際交流基金の企画制作による、テーマ別にピックアップした国内の美術館 24 館を紹介する映像作品に参加。国際交流基金の YouTube（5 か国語）で全世界に配信中。
- ・2025 年秋に国立グスタフスベリ陶芸美術館（スウェーデン）にて開催予定の展覧会「濱田庄司とウィルヘルム・コーゲ」（仮）準備のためのグスタフスベリ陶芸美術館学芸員の調査を 3 月に受け入れ。
- ・「柳宗悦と朝鮮の工芸 ―陶磁器の美に導かれて」の記念催事として、当館所蔵の柳宗悦の朝鮮関連記録資料に関する展覧会「柳宗悦の心と眼」（シンポジウム含む）を、東京芸術大学の学術協力と韓国国外所在文化財財団の助成を得て、2022 年 9 月 14 日から 10 月 1 日まで韓国文化院にて共同開催。

5. 日本民藝館所蔵品の貸出

日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は 14 ヶ所、出品 207 点）

会場	展覧会名	貸出作品	点数	会期
東京国立博物館 九州国立博物館	沖縄復帰 50 年記念「琉球」	芭蕉桐板紺地格子着物 芭蕉木綿紺地花鳥 等	4	‘22. 5. 3-6. 26 ‘22. 7. 16-9. 4
岩手県立美術館 福島県立美術館 東京ステーション	東北のまなざし 1930-1945	芹沢銈介、棟方志功作 品、こぎん衣裳、油徳 利、背中当、蓑 等	58	‘22. 4. 9-5. 15 ‘22. 6. 4-7. 10 ‘22. 7. 23-9. 25
駐日韓国大使館 韓国 文化館ギャラリー	朝鮮とその藝術：刊行 100 周年記念「柳宗悦と心の眼」	柳宗悦の肉筆原稿、 写真、史料等	40	‘22. 9. 14-10. 1
市川市文学ミュージアム	式場隆三郎と民藝運動	柳宗悦作「切抜帖」（第 1 巻）より「式場隆三郎 柳宗悦宛書簡」等	23	‘22. 4. 20-6. 24
ワタリウム美術館	鈴木大拙展	棟方志功作品、大津絵、 羅漢像、柳宗悦書「美 の法門」等	14	‘22. 7. 5-10. 30
静岡市立芹沢銈介美術 館	芹沢銈介の沖縄展	沖縄絵図、琉球風物等	9	‘22. 10. 8-12. 11
豊田市民芸館	藍染の絞り 片野元彦・かおりの仕事	片野元彦、かほり作品 木綿地藍染竜巻紋等	27	‘22. 9. 13-12. 4
女子美術大学美術館	柚木沙弥郎の 100 年-創造の 軌跡	注染幾何紋布、注染水玉布 型染唐草文布 等	20	‘22. 9. 17-10. 17
滋賀県立陶芸の森	静中動：韓国スプリットをた どる-開かれた陶のアート	白磁満月壺、白磁立壺等	11	‘22. 9. 17-12. 18
韓国リウム美術館	朝鮮白磁大展	白磁蓋物 等	6	‘23. 2. 28-5. 28-
富山県美術館 3 館巡回（2023. 12 迄）	生誕 120 年棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ	大和し美し、華厳譜 いろは版画柵	16	‘23. 3. 18-5. 21

6. 出版などのメディアによる民藝の普及活動への協力

- ・機関誌である雑誌『民藝』への編集協力
- ・柳宗悦『琉球の富』（沖縄返還 50 周年を記念して、ちくま学芸文庫から 2022 年 5 月に刊行、解説：松井健担当）
- ・日本の伝記 知のパイオニアシリーズ『柳宗悦と美』（土田眞紀著 玉川大学出版会 2022 年 7 月刊行）
- ・浅川巧『朝鮮の膳/朝鮮陶磁名考』（ちくま学芸文庫から 2023 年 1 月に復刊、解説：杉山享司担当）

7. 各地美術館や学校及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会主催の催事、及び各地民藝館や美術館、大学等への講師（学芸員）派遣を通して、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし民藝の普及・推進を図る。

8. 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした情報を整理し、展覧会等に供する。
（「仏教絵画—浄土信仰の絵画」展の関連図録として、展示作品及び柳宗悦の未公開の原稿を紹介。
また、韓国文化院で開催した『朝鮮とその藝術』刊行 100 周年記念「柳宗悦の心と眼」展の図録として、柳の未公開を含む肉筆原稿やスケッチブックを紹介した。）
- ・外部の研究者や学芸員に対して、作品や資料に関する調査（熟覧）を受け入れる。
- ・Web（HP 等）を通して、主要な収蔵品の情報を随時提供する。

IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

1. 日本民藝館展の開催

会期	2022 年 12 月 10 日～12 月 25 日（14 日間）
表彰式・講評会	2022 年 12 月 6 日（受賞者：館賞 1、協会賞 1、奨励賞 4）
入館者数	3,415 人（入館指定日時予約制）

出品状況（応募・審査状況）

出品分野	出品者数	制作者数	出品点数	審査結果		
				入選	準入選	落選
分野（陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等）	331 名	358 名	1,375 点	514 点	376 点	485 点

V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへ配布。並びに京王線主要駅の駅貼り大型ポスターの掲出。
- ・各特別展のチラシ（案内状）を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員へ配布。
- ・マスメディアを通して展覧会や当館の活動に関する情報を紹介（NHK「日曜美術館」での放映や雑誌等の誌面紹介）。
- ・館 Web サイト（ホームページ）や SNS（フェースブック、インスタグラム）を通しての情報の発信
- ・弊館の歴史やコレクションを紹介する映像資料「日本民藝館物語」（三部作）の視聴提供

VI. 所蔵品等の修復整備

- ・色絵蓮池翡翠文皿 1 点、スリップウエア皿 1 点、スペインコバルト採便器 1 点

VII. 所蔵品の蒐集（1 点）及び寄贈品（835 点）

蒐集品（購入）富本憲吉作朝鮮風景スケッチ画 1 巻

寄贈品：芭蕉布衣裳 1 点、柚木沙弥郎作「染付玩具紋紬帯」1 点、柳宗悦書「帰去来」1 点、バーナード・リーチ作「うちわ絵」3 点、山ノ神茶壺 1 点、ブレインカ紋裂 1 点、丹波徳利 1 点、信楽茶壺 1 点、韓国ボジャギ 1 点、柚木沙弥郎染色作品 17 点、村田コレクション（西洋工芸）812 点、初期有田色絵山水文壺 1 点、米浪庄式宛柳宗悦書簡封書 1 点、米浪庄式宛柳宗悦書簡封書・ハガキ各 1 点、濱田庄司作（皿）1 点

VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・樋雨水排水路工事、エレベータ昇降ロープ定期交換、水槽排水ポンプ修理 空調修理 等
- ・西館の火災警報装置設置（東京都指定有形文化財として指定されたことに伴い、消防法等において自動火災報知設備の設置義務が生じたため）

IX. 役員等に関する事項

2022年6月24日 第1回定時評議員会

- 議事事項 ・2021年度事業報告書及び計算書類等について
・役員任期満了に伴う選任について 等

2022年5月20日 第1回定時理事会

- 議事事項 ・2021年度事業報告及び計算書類等の承認 等
・役員任期満了に伴う選任についての承認 等

2022年6月28日 みなし決議に関する理事会

- 議事事項 ・理事長及び常務理事の選定の承認 等

2023年3月9日 2022年度第3回定時理事会

- 議事事項 ・2023年度事業計画及び収支予算の承認
・2023年度定時評議員会の招集について 等

X. 収益事業

- 1) 日本民芸館展（新作工藝公募展）における入選出作品の委託即売を展示会場内で行った。
- 2) 駐車場の月極車両契約は、京王不動産の委託管理により円滑に運営できた。

- ・2022年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

2023年5月
公益財団法人 日本民芸館